

研究員 の眼

外国株式ファンド以外が売れず!! ～2024年12月の投信動向～

金融研究部 主任研究員 前山 裕亮
(03)3512-1785 ymaeyama@nli-research.co.jp

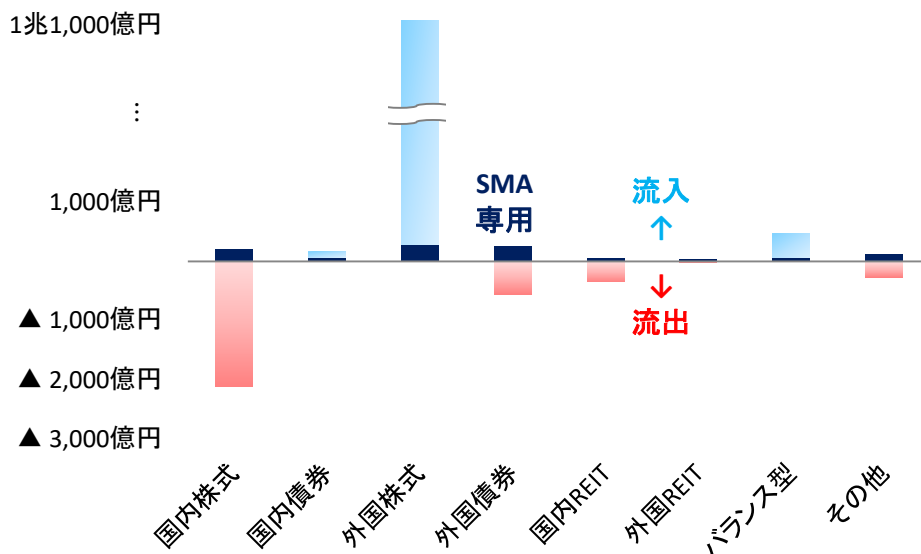
外国株式以外は低調

2024年12月の日本籍追加型株式投信（ETFを除く。以降、ファンドと表記）の推計資金流入出をみると、12月は外国株式ファンド以外の販売が低調であった【図表1】。

バランス型ファンドは資金流入していたが、500億円を下回り2024年で最小だった。国内債券ファンドは、12月に新設されたファンドが売れたため一般販売されているものに限ると2024年最大の資金流入となったが、それでも100億円未満であった。

また、外国REITファンドは一般販売されているものに限ると、非常に少額だが資金流出だった。さらに国内株式ファンドは資金流出に転じ、外国債券ファンドと国内REITファンドは資金流出が11月から加速した。特に国内株式ファンドは、一般販売しているものに限ると2,100億円の流出となった。

【図表1】2024年12月の日本籍追加型株式投信（除くETF）の推計資金流入出



(資料) Morningstar Direct より作成。各資産クラスはイボットソン分類などを用いてファンドを分類。

国内株式ファンドは大規模流出

一般販売されている国内株式ファンドをタイプ別にみると、インデックス型（黄棒）から1,200億円の資金流出があった【図表2】。また、アクティブ型（緑棒）も3カ月連続の資金流出となり、流出額が900億円と3カ月で最大だった。

国内株式は日経平均株価が一時4万円を回復し、月間の上げ幅が1,600円を超えるなど、2月以来となる大幅上昇に伴って、国内株式ファンドでは利益確定の売却が出たようだ。特にインデックス型では、日経平均株価が3万9,000円台に戻った翌営業日の4日や4万円を超えた翌営業日の30日には、1日で500億円に迫る資金流出があった。

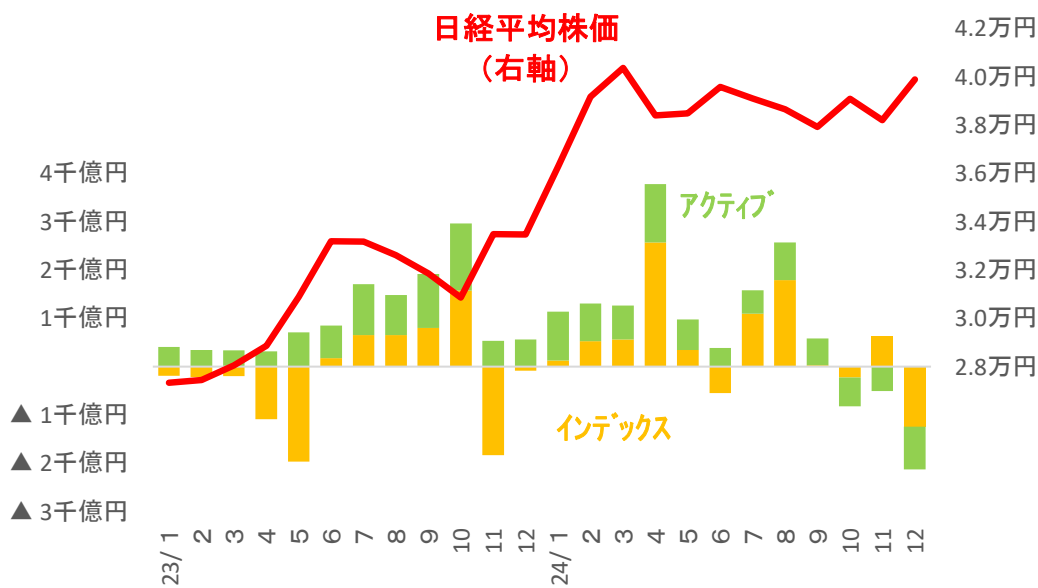
それにしても12月は、アクティブ型、インデックス型ともに資金流出が膨らんだ印象である。2024年初と比べてNISA口座、特に成長投資枠からの買付が細ったことも背景にあったのかもしれない。2024年1月から3月にかけては、株価上昇に伴って売却が多かったが、それ以上に買付が増加したため流出超過にならなかった。2025年に入ってからNISA口座の買付が復活し、国内株式ファンドが再び盛り返してくるのか注目される。

それでも米国株式ファンドがけん引

このように12月は多くの資産クラスのファンドが低迷する一方で、外国株式ファンドには1兆1,100億円の資金流入があった。11月の8,400億円から2,700億円増加し、7月以来6カ月ぶりに流入額が1兆円を上回った。

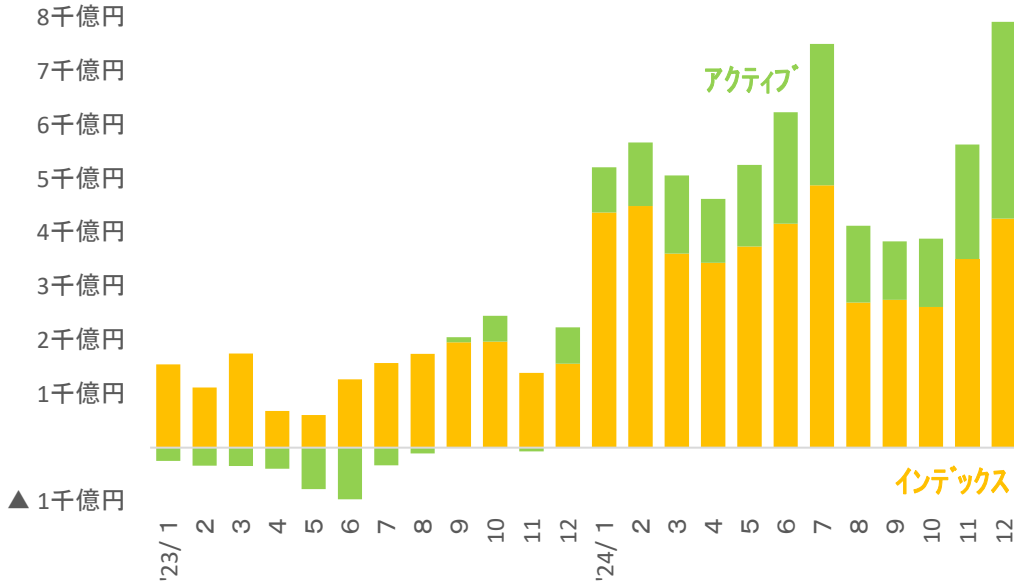
一般販売されている外国株式ファンドをタイプ別にみると、インデックス型に7,200億円とアクティブ型に3,600億円の資金流入があった。ともに11月の6,500億円、1,500億円から増加したが、特にアクティブ型が11月から2,100億円増加し顕著だった。

【図表2】国内株式ファンドの資金流出入



(資料) Morningstar Direct より作成。2024年12月のみ推計値。SMA専用ファンドは除外。

【図表3】米国株式ファンドの資金流入



(資料) Morningstar Direct より作成。2024年12月のみ推定値。SMA専用ファンドは除外。

【図表4】2024年12月の推定純流入ランキング

順位	ファンド名	運用会社	11月の流出入	12月の推定純流入	純資産12月末時点
1位	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	三菱UFJアセットマネジメント	1,675億円	2,052億円	6兆5,155億円
2位	eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)	三菱UFJアセットマネジメント	1,569億円	1,862億円	5兆 995億円
3位	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信D毎月(ヘッジなし)予想分配金提示	アライアンス・バーンスタイン	1,035億円	1,241億円	3兆3,996億円
4位	インベスコ 世界厳選株式オープン(為替ヘッジなし)(毎月決算型)	インベスコ・アセット・マネジメント	676億円	802億円	1兆7,733億円
5位	SBI・S・米国高配当株式ファンド(年4回決算型)	SBIアセットマネジメント	—	727億円	736億円
6位	iFreeNEXT FANG+インデックス	大和アセットマネジメント	204億円	435億円	4,220億円
7位	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)	アライアンス・バーンスタイン	249億円	384億円	1兆6,597億円
8位	楽天・プラス・S&P500インデックス・ファンド	楽天投信投資顧問	285億円	346億円	4,135億円
9位	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド D(毎月・予想分配・ヘッジ無)	フィデリティ投信	216億円	305億円	1,496億円
10位	東京海上・宇宙関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	東京海上アセットマネジメント	52億円	241億円	561億円

(資料) Morningstar Direct より作成。ETF、SMA・DC専用ファンドは除く。

外国株式ファンドの販売を牽引したのは、12月も米国株式ファンドであった。一般販売されている米国株式ファンドはインデックス型(黄棒)、アクティブ型(緑棒)ともに11月に資金流入が増えていたが、12月は更に増加した【図表3】。インデックス型に4,300億円、アクティブ型に3,700億円の資金流入があった。米国株式ファンド全体だと7,900億円の資金流入があり、7月の7,500億円を上回り、2024年最大となった。個別でも資金流入が大きかった10本すべてが外国株式ファンドであり、うち6本(赤太字)が米国株式ファンドであった【図表4】。

国内自動車関連株ファンドが高パフォーマンス

12月は、国内株式、特に自動車株が大きく上昇したため、自動車関連の国内株式ファンド(赤太字)が高パフォーマンスだった【図表5】。

また、ハイテク系のテーマ型の外国株式ファンドも高パフォーマンスのもの(青太字)があった。特に「iFreeNEXT FANG+インデックス」「FANG+インデックス・オープン」「野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)」は、2024年の収益率が70%を超えるなど、12月に限らず1年通じて非常に高パフォーマンスだった。

【図表5】2024年12月の高パフォーマンス・ランキング

	ファンド名	運用会社	12月の 収益率	過去1年 収益率	純資産 12月末時点
1位	DC日産株ファンド	三井住友トラスト・アセットマネジメント	33.3%	-11.2%	29億円
2位	DCトヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	三井住友DSアセットマネジメント	16.7%	16.2%	123億円
3位	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	三井住友DSアセットマネジメント	16.7%	16.3%	2,031億円
4位	eMAXIS Neo 自動運転	三菱UFJアセットマネジメント	15.9%	5.5%	110億円
5位	米国大型テクノロジー株式ファンド	三井住友トラスト・アセットマネジメント	15.7%	---	109億円
6位	一歩先いく US テック・トップ20インデックス	大和アセットマネジメント	14.7%	---	219億円
7位	iFreeNEXT FANG+インデックス	大和アセットマネジメント	14.6%	70.8%	4,220億円
8位	FANG+インデックス・オープン	大和アセットマネジメント	14.6%	70.7%	413億円
9位	野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)	野村アセットマネジメント	14.6%	74.1%	4,496億円
10位	iFreeNEXT ATMX+	大和アセットマネジメント	14.2%	44.1%	10億円

(資料) Morningstar Direct より作成。2024年12月末残高が10億円以上のETF、ブル・ベア型以外のファンドでランキング。

(ご注意) 当資料のデータは信頼ある情報源から入手、加工したのですが、その正確性と完全性を保証するものではありません。当資料の内容について、将来見解を変更することもあります。当資料は情報提供が目的であり、投資信託の勧誘するものではありません。